国際化の最前線から

海外展開アドバイザーが拓く海外展開

株式会社フォーバル　小綿　寛則（クレアプロモーションアドバイザー）

「知る活動」から生まれる成果

これまで、中小企業の海外販路開拓支援として、さまざまな自治体に対し、伴走型サポートを行ってまいりました。なかでも、カンボジア、ベトナム、インドネシア、ミャンマー、タイへの海外展開支援に多く携わってきました。

2025 年度に手掛けた仕事としては、神戸市委託事業として、ベトナム・ホーチミンにおいて、市内企業の海外展開を支援しました。現地企業との訪問型商談会のほか、国別の規制・慣習を踏まえた資料や通訳付き企業訪問を実施しました。

インドネシアでも、商談会やデスク業務を中心にサポートを行っています。現地事務所には、各自治体の連絡事務所の看板を設置し、自治体がインドネシアを訪問した際の対応を行っています。

カンボジアでは、現地モールと連携してプロモーションや販売会を実施しました。こういった取り組みでは、現地消費者の生の声を可視化し、自治体と企業へフィードバックを行うことが重要であると考えています。

特に最近は、現地での販売を目指す企業も多く見受けられます。自治体や企業をサポートする立場としては、「現地を知っていただくこと」に注力しています。国が変われば、文化、教育、歴史などが違ってきます。既製品ではなく、現地の方々の生活が豊かになり、且つ喜んでいただける商品やサービスを提供すること、それが日本企業が海外で成功するための最大のポイントと考えています。

このような「知る活動」で得た情報を基に、現地の方々にとって、生活に必要と思ってもらえる商品やサービスを提供する事が重要であり、それこそが日本企業が世界で誇れる「社会性」だと考えています。人々の生活に密着できるポテンシャルがあるからこそ、世界で一番 100 年企業が多いのが「日本」なんだと思います。

だからこそ今後は、企業が作りたいものを売る「プロダクトアウト」ではなく、市場やユーザーのニーズに基づいた商品やサービスを提供する「プロダクトイン」の発想を大事にして活動することが非常に重要だと考えます。

インドネシア事務所に設置している表示板
（2025 年 8 月 31 日現在）

プロフィール

小綿　寛則（こわた　ひろのり）
1997 年に株式会社フォーバルに入社。2014 年より海外展開コンサルタントとして活動。年間 300 件以上の中堅・中小企業をサポートしている。2024 年度からはフォーバルインドネシアのダイレクターも務める。